

問い合わせ

社会教育課 教務係

(☎内線451)

「人権」という言葉から、 あなたはどんな印象を受けますか？

みなさんは「人権」について、どのようなイメージをお持ちでしょうか。「とても大切なもの」、けれども「何だか堅苦しくて難しいもの」でしょうか。

「人権」とは、私たちが幸せに生きるための権利です。誰にとっても身近で大切なものであり、一人ひとりが共通して持っています。「人権」は、決して難しいものではなく、だれでも心で理解し、感じることでできるものです。

人が生まれながらにもっている「人権」は侵すことも、侵されることもありません。しかし現実の社会では、不当に人が傷つく差別事象が発生しています。女性だから、子どもだから、高齢

だから、障がいがあるから、外国人だから…など、という理由で差別を受ける現実があります。ハンセン病に対する誤った認識や偏見により、現在でも故郷に帰ることができない人もいます。どれも、悲しく痛ましい人権問題です。どうしてこのようなことが起こるのでしょうか。どうすればこのようなことをなくせるのでしょうか。

本市では、あらゆる啓発事業をおおして、すべての差別の解消を目指しています。取り組みをおおして、みなさまの人権についての理解をいっそう深めるきっかけにいただければ幸いです。

人権講座「ひまわり」が8月から始まります

本市において平成9年度から取り組んでいる人権講座「ひまわり」は、年5回の講座に加えて、11月の第2日曜日に昼講座を開催しています。

あなたも人権問題を一人ひとりの課題としてとらえ、差別の現実を知るだけでなく、「差別をなくす人」となるために「人権講座ひまわり」に参加してみませんか。

夜講座

日時：8月の第二金曜日と9月～12月の第一金曜日 午後7時～9時
会場：太宰府市南隣保館2階大会議室（8・9・11・12月開催）
太宰府市立学業院中学校 体育館（10月のみ）

8月10日(金)「戦争の過ちを繰り返してはいけない」

平野 宏文さん（NPO法人筑紫原爆被害者の会 理事）

9月7日(金)「コリアン文化と在日の想い」

裴 東録さん（在日コリアン2世）

10月5日(金)「絵本『いのちの花』からのメッセージ」

園田 久子さん（公益社団法人 福岡県人権研究所 副理事長）

11月2日(金)「若者の立場から見える部落差別」

吉岡 綾さん（部落解放同盟福岡市協議会 青年部）

12月7日(金)「魔法の言葉『いいんだよ』」

齋藤 真人さん（立花高等学校 校長）

昼講座

日時：11月11日(日) 午後2時～4時
会場：県立太宰府特別支援学校 交流ホール

「人権問題として色覚問題を考える」

尾家 宏昭さん（別府市立青山中学校教諭・「しきかく学習カラーメイト」代表）

●受講料：無料

●手話通訳、要約筆記、託児（2歳～未就学児）を行います。

※要約筆記、託児については事前に電話にて問い合わせください。

●申し込み：事前に電話にて申し込みをお願いします。（当日参加も可能です。）

申し込み・問い合わせ：社会教育課 教務係（☎内線451）

